

美術科 学習指導案

期 日 令和3年11月12日(金) 第5校時
13:40～14:30

題 材 名 「田毎焼」deふるさと再発見

指 導 者 県総合教育センター 千原 厚専門主事

授業学級 3年1組

男子13(2)名 女子16(0)名 計29(2)名

授 業 者 玉井 克憲

授業会場 千曲市立更埴中学校 美術室

学校教育目標 及び 美術科でのとらえ

「相手に生きることによって 自己を生かす」

1. 自分も相手とともに認め合い、尊重する(思いやり)
→活動や作品鑑賞などを通して他者と関わりながら、自他の違いやよさを共有する。
2. 自分の思いや考えを表現しながら進んで課題に取り組み、願いを追い求める生徒(向上心)
→自分の思いを基に活動し、様々な方法を用いて試行錯誤して追求し、自ら創造する喜びを味わう。
3. 心身の健康に留意する生徒(心身の健康)
→道具や釉薬の扱い方に気をつけ、安全に活動する。

全校研究テーマ

生徒と共に成就感・達成感を味わう授業づくり
～教育活動全般で自己表現力を高めながら～

長野県美術教育研究会 全県研究テーマ

ひびき合う感性『私っていいな!』
“楽しく子どもアート”

美術科 研究テーマ

自分の意見をもった表現を追求し、友だちの表現や生活の中の美術からよさや美しさを感じ取る授業づくり

更埴大会テーマ

ふるさとで楽しく子どもアート

生徒の実態

- ・造形に興味、関心が高く、色々な工程がある陶芸は、ワクワクしながら、意欲的に取り組むことができる。
- ・作品への想い、構想の仕方や技法(全体の形、装飾方法など)を共有したり、作業が難しい成形や色塗りの場面では友だちと協力したりして活動することができる。
- ・どのような目的で作品をつくるのか、思いや気持ちをどのように色や形などに表現していけばよいか、見通しやイメージがつかず、不安になってしまう生徒がいる。

教師の願い

- ・導入場面で構想を立てるために、資料を集めたり、見本になりそうな作品を持ち込んだりして、それを作品の構想に役立て、制作のイメージにつなげてほしい。
- ・完成のイメージがわかるように、絵や図を描くことを通して、表現方法の見通しをもち、自信をもって取り組んでほしい。
- ・陶芸作りを通して、新たな見方や考え方を広げ、どんなことにもねばり強く取り組んでほしい。

こういう場面で

- ・導入の構想や見通しをもつ場面や作品制作、追求途中。

このようにすれば

- ・構想の参考に導入で、ChromeBook を持ち帰って、地域の素材や見本となりそうな陶芸品の写真を撮る。また、パンフレットなど資料を集め、構想を立てるための参考にする。
- ・完成のイメージ図や想いを記入し、完成までにどのように追求していくか確認する場を設ける。(学習カードの工夫)
- ・教師の支援に加え、困り感を共有したり、支えあったりし、状況を見ながら仲間と情報交換するように促す。

こうなるだろう

- ・ふるさとのよさを再発見しながら、作品をつくる必要感をもち主体的に制作することで、ねばり強く追求することができる。
- ・地域の方に協力していただいて作品ができることを通じて感謝の気持ちが生まれ、自分自身や周りの人(親や地域の人)のために、丁寧に大切に制作することができる。
- ・今までの経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などで試行錯誤しながら制作することができる。

素材の特性・支援の工夫

- ・地域への感謝の気持ち、地域を盛り上げていけるように願いを込めながら制作していく。地域の方々に喜んでもらえるように心を込めて制作することができる。
- ・「田毎焼」につながる陶芸品や地域題材を授業以外でも身近な生活の中で見つけるようにする。ふるさとのよさをあらためて再発見するために ChromeBook で資料や写真に収め、授業の中で共有し、参考にすることができる。
- ・形は、陶板、角皿、丸皿にすることで、飾りや色、表現技法などの工夫に時間をかけることができるようにする。
- ・構想カードで完成予想や工夫をイラストで描いたり、言葉で書いたりすることで、見通しやイメージをもち追求することができる。

学習指導案

1 題材名

『田毎焼』 de ふるさと再発見

2 題材目標

【知識および技能】

- (知識) 板づくりの技法を用いた『お皿』の制作を通して、陶芸の道具の名称、技法の理解、釉薬の種類と効果、自分に合った表現方法の選択など基本的な知識を習得する。
- (技能) 表現方法に合わせて立体の形状の組み立て、「高さ」「使いやすさ」「装飾」の工夫、釉がけや絵付けによる技法の習得ができ、想いのこもった作品を制作する。
(なお、焼成に関しては地域の陶芸家に依頼するので、窯に関する技能は省く)

【思考力、判断力、表現力等】

- (発想や構想) 地域への感謝の気持ち、地域を盛り上げていけるように願いを込めながら「どんな『お皿』にしたいか」デザイン性、機能性、造形美、装飾美をどのように表現していくのか考える。
構想カードに完成予想や工夫をイラストで描いたり、言葉で書いたりしておく。
- (鑑賞) 自分たちの作品の造形的なよさや美しさについて、感じ取ったり、考えたりし、自分の見方や感じ方を深めるとともに友人の作品のよさを認め合う。(地域の方にも鑑賞していただき、感想をお聞きする)
- (自分のイメージをもつこと) 導入場面で、資料を集めたり、見本になりそうな作品を持ち込んだり、示範作品を見たりして、構想に役立て、制作のイメージをもつ。

【学びに向かう力、人間性等】

陶芸の各工程(成形・釉がけ)で色々な工夫ができる面白さ、完成していく喜びを味わうことができる。制作への想い、願いを大切にし、納得いくまで試行錯誤して追求することができる。
地域の方の協力を得て作品ができあがるので、感謝の気持ちや作品を大切にする気持ちをもつことができる。

3 題材展開の概要と評価規準

段階	時	学 習 課 題 ・ め あ て	評価規準
導 入	1 ・ 2	学習活動 『田毎焼』 de ふるさと再発見 「制作過程を確認し、ふるさとをどう盛り込むか検討しよう」 [第1時] ● ChromeBook を活用しながらそれぞれ持ち込んだ資料をもとに、制作にどうかすのかを考え、共有する。 ● 陶芸の制作過程の確認をし、流れをつかむ。 [第2時] ● 焼き物、お皿などの資料を持ち込み、陶芸の特徴、釉薬の種類、成形の技法、道具の扱い方を共有し、どんな手法が適しているか確かめる。 ● 構想を練る *完成予想をイラストや言葉でかく。大きさ、形、アイデア(願い)、色塗り(釉がけ)など項目別にまとめ、共有する。	○ChromeBook を活用し、ふるさとや自分の想いを発信することができる。陶芸制作の過程を理解し作品にいかそうとしている。板作りを理解し粘土のよさを知ることができる。(知識、技能) ○学習カードにまとめた内容[アイデア、大きさ、形、装飾、色塗り]を友人と共有し作品にいかそうとしている。(思考力、判断力、表現力) ○学習カードにまとめることで、見通しをもって学習に向かおうとしている。(学びに向かう力、人間性)
	3 ・ 4	学習活動 『田毎焼』 de ふるさと再発見 「構想カードをみんなで共有し、成形の準備を進めよう」 [第3時] ● 構想カードをみんなで共有し、工夫しているところなど参考にしながら、自分の構想カードを完成させる。 [第4時] 成形準備 ●使う道具の確認、土の感触を味わう。 ●板づくりの練習をする。	○板づくりの技法を用いてお皿を成形しようと工夫している(思考力、判断力、表現力) ○主体的に素材と向かい合うことで、想いのこもった作品にしようと試行錯誤している。(学びに向かう力、人間性) ○友人の作品を参考に、自分の制作にいかすことができる。(学びに向かう力、人間性) ○使う道具や板作りの技法を理解することができる。(乾燥素焼き3日)(知識、技能)

展開 本時	5	学習活動 <田毎焼 de ふるさと再発見> 「ふるさとの想いを形にしていこう」 成形 構想カードをいかしてお皿の成形をする。 ●板づくりの技法を用いてお皿の成形をする。 ●お皿にふるさとの良さがでるデザインを施す。 ●装飾など工夫をする。 ●見ていただく方を意識して丁寧を作る。 ●乾燥（2日必要）	○紙皿やタッパーを型にして粘土を成形する。（知識、技能） ○装飾を工夫しふるさとをでき連想させるデザインにする。（思考力、判断力、表現力） ○友達とお互いの作品を見合い良さや地域性が出るように工夫できる。（学びに向かう力、人間性）
展開	6	学習活動 <田毎焼 de ふるさと再発見> 「絵付け釉がけをしてみよう」 撥水材塗り、絵付け、釉がけ ●釉薬がかからない部分に撥水材を塗る。 ●素焼きが終わったら、絵付け釉がけをする。色にもふるさとの想いができるように色を選択し、配色の工夫などして絵付け釉がけする。 ●釉薬についてその種類と仕上がりを学び、表現にいかす。 ●焼き上がりと色の変化について温度と時間の関係を学ぶ。 本焼成（完成まで3日間必要）	○主に底になる部分に撥水材をしっかり塗る。撥水材の役割を理解できる。（知識、理解） ○釉薬の種類を理解し、自分の想いつながるような釉がけができる。（思考力、判断力、表現力） ○焼成の時間や温度変化で発色の違いや質感の違いを知る。酸化、還元焼成について学び、理解をすることができる。（知識、技能）
振り返り	7	学習活動 「作品の紹介状を書き、鑑賞しよう」 ●作品カードに、作品への想いや、工夫したこと、作ってみたいの感想を書く。 ●焼きあがった作品を鑑賞し合い、作品のよさ、込めた想いを発表し合い、みんなで共有する。 ●学校近隣の商店街や福祉施設、市の施設に展示する。保護者の方、窯元さんにも見てもらうように招待する。 ●作品を焼いてくださった窯元さんに、感謝の手紙を書く。（家庭学習）	○自分や友達の作品から、造形的な良さや美しさを感じ取り、作品カードのコメントを参考にしながら、見方や感じ方を深めている。（思考力、判断力、表現力） ○関わっていただいた方と共に陶芸活動の喜びを味わう。作品に込めた想いを発表し共有する。（学びに向かう力、人間性）

4 本 時 案

（1）主 眼

ふるさとへの想いを大切にしながら構想をしてきた生徒が、ふるさとへの想いを込めたお皿を制作する場面で、撮りためた ChromeBook の写真やアイデアスケッチの構想、示範作品、友だちの工夫をもとに成形することで、型を使いオリジナル皿の形にしたり、道具を工夫して使い装飾したりしながら、想いの詰まった表現をすることができる。

（2）本時の位置

題材全7時間中の第5時

前時 板作りの体験・工程の説明

次時 絵付け、釉がけの体験

（3）本時を支える基礎的・基本的な内容

- ・ 総合的な学習の時間の経験をいかして、地域を巻き込んで作り上げる授業展開。
- ・ 今までの美術科の学習で学んできた表現する力。

（4）本時での ICT 機器の運用

- ・ ChromeBook を使い資料を収集し制作の参考にしたり、完成した作品の写真を取り、友達と共有したりする。

（5）指導上の留意点

- ・ 示範作品や手順を ICT など活用して説明することで、生徒に見通しを持たせそれぞれのねらいにあった作品ができあがるように支援する。
- ・ 形を作る時に先の鋭い道具を使う場面があるので怪我がないように声掛けを丁寧に行う。

（6）本時の展開

段階	学習活動	予想される生徒の反応	○指導・評価	時間
導入	1 前時を振り返る。	・ 粘土が柔らかくて自由に作れそう。 ・ 私は地域の美しさをそのまま表現したいので、今回は棚田をモチーフにして作りたいと思います。	・ 構想カード、資料をもとにこれまでの流れの確認、師範作品を見せながら制作手順の確認、地域への想いの確認をする。	5

	2 手順と想いの確認をする。	・僕は地域の人に喜んでみてもらえるような作品にしていきたいです。 ・千曲市の風景が見ただけで思い浮かぶような作品にしていきたい。	・完成予想図を共有する。目的をはっきりさせる。	
展開	3 学習課題を共通理解し、ふるさとへの想いを形にしていく。	【学習課題】オリジナルな型で全体の形をとったり模様を工夫してつけたりして制作しよう。 ◎お皿の型をつくる。 ・平皿（陶板）の方が模様付けやすいね。 ・お皿っぽくへりを立てたい。  ◎表面、側面の模様、装飾をつける。 ・月の模様を描いてみたいです。 ・稲を押し当てて、形にしたいのですが、できますか。 ・千曲川を表現したいのですが、できますか。  ◎全体を整える ・ふちを整えるには、どうしたらいいですか。 ・仕上がったらどうしたらいいですか。	・前時に板作りまで作業を進めておき、装飾や形に時間をかけることができるようにする。 ・お皿にあった型を用意しておく。 ・陶板の状態で模様をつけるよう促し、全体の流れを工程表などで確認できるようにする。 ・模様をつけるのに必要な竹串、鉛筆、針金、かきべら、木べら、フォークなど道具を用意しておく。 ・稲など実物を用意しておく。 ・作品の写真を ChromeBook で撮影し、感想を学習カードに書くように促す。（写真がとれる人は撮しておく） ・手つかずの生徒についてはあらかじめ型紙を切っておく、実物を用意しておくなど、個々に応じた支援をする。 ・なめし皮でふちをなでるように使うことを指導する。 ・型にのせ乾燥させるように指示する。（ひびが入るところは水をつけてなでるようにする。）	30
終末	4 活動を振り返る。作品の工夫点や地域への想いを発表する。	・千曲川の様子を竹串で線をつけて表現した。お皿に地域の良さが表現できて良かったです。釉かけを工夫して仕上げていきたいと思います。 ・今回あらためて、身の回りの物をよく見て地域のよさを再発見することができました。美術の授業を通して、ふるさとを大切にしていきたいと感じました。 ・私のおじいさんは施設にいますがなかなか会えません。作品を見て少しでも元気になったらいいなと思ってつくりました。 ・釉かけを頑張って自分の想いが伝わる色や絵で表現して、地域の方が元気になるような作品に仕上げていきたいです。	・自分の言葉で発表できるように支援する。 ・学習カードに記入をさせる。 ・どんな形にして工夫したのか問い返しをして、想いを語り合えるようにする。 ・本焼成後地域のお店、福祉施設、文化施設に作品を展示することを伝える。 【評価】 型を使いオリジナル皿の形にしたり道具を工夫して使い装飾したりしながら、ふるさとへの想いの詰まった表現をすることができたか。机間指導、追求の様子学習カードなどで評価する。	10
	5 片付けをする。			5

